# 分科会開催報告書

| | |
|---|---|
| 報告日　令和２年　　１２月　　２５日 | 報告者　　小　幡　友　子 |
| 分科会名　　浮雲俳句会 | 開催テーマ　第１４２回浮雲俳句会 |
| 開催日時　令和２年　１２月　２０日（日）<br>午前９時３０分～午前１１時３０分 | 開催場所<br>能見台地区センター多目的室―Å― |
| 参加人数　　“わ”の会会員　　男１１名　　女６名　　合計１７名<br>欠席者０名 | |

実施内容

第１４２回例会は、兼題①名古屋城②植物（仲冬）。他に当季雑詠２句。計４句。句会は、大川一馬会員による添削披露及び、小幡とも女会員による選句の披講の後、北野主宰が不在の為、全会員で、天・地・人賞句と特選４句を選んで決めた。

。

| | | |
|---|---|---|
| 天賞句 | 天狼に吸ひ寄せられし機影かな | あきえ |
| 地賞句 | 方丈や一輪挿しの冬至梅 | 二　祥 |
| 人賞句 | 庭石に紅零す実千両 | とも女 |
| 特選句 | 龍華寺や読経流れて冬牡丹 | 三　旦 |
| | 鉢植の寒菊香る無人駅 | 十　九 |
| | 埋火や北へと夜汽車遠ざかる | 春　駒 |
| | 湯たんぽの微温優しき朝寝かな | 三　洋 |

会員高点句

| | | |
|---|---|---|
| ７点句 | 天狼に吸い寄せられし機影かな | あきえ |
| ６点句 | 方丈や一輪挿しの冬至梅 | 二　祥 |
| ６点句 | 庭石に紅零す実千両 | とも女 |

次回の予定

令和３年１月３１日（日）午前９時３０分～午前１１時３０分

「第１４３回例会」は能見台地区センター多目的室―Å―

第１４３回例会は兼題①金沢城②時候（晩冬）。他に当季雑詠２句。合計４句。

披講　小俣一梲会員